

環 境 報 告 書

2021年度

活動期間

【2021年4月1日 ~ 2022年3月31日】



発行日

2022年 7月 20日



株式会社 司

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 : 株式会社 司
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役 松村亜矢子
- (3) 所在地 : 本社・事務所 三重県松阪市五主町1313番地
中間処理施設 三重県津市一志町其倉170番地1
積替え保管施設 三重県津市一志町其倉170番地1
- (4) 事業内容 : 解体工事業
産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物処分（中間処理）
一般廃棄物収集運搬
- (5) 資本金 : 10,000千円
- (6) 沿革
- | | |
|----------|---|
| 1990年2月 | 事業発展により個人組織より有限会社司清掃社法人化 |
| 1990年9月 | 三重県産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 1992年2月 | 三重県一志郡三雲町五主町1313にて事業所所在地に本社移転 |
| 1996年5月 | 三重県度会郡玉城町に伊勢営業所設立 |
| 1999年5月 | 三重県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 1999年7月 | 愛知県産業廃棄物収集運搬業許認可
愛知県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2000年8月 | 三重県産業廃棄物処分業許認可
三重県解体事業登録 |
| 2001年2月 | 有限会社司清掃社から株式会社司へ組織変更 |
| 2001年7月 | 岐阜県産業廃棄物収集運搬業許認可
岐阜県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2003年6月 | 専務取締役松村亜矢子が退任し、代表取締役に就任 |
| 2004年4月 | 三重県再生施設認定 |
| 2005年8月 | 肥料登録（発酵肥料つかさ） |
| 2008年4月 | 事業拡大に伴い津市一志町に津リサイクル工場完成 |
| 2008年5月 | 奈良県産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2008年6月 | 再生利用業個別指定許認可 |
| 2009年7月 | 滋賀県産業廃棄物収集運搬業許認可
滋賀県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2009年10月 | 食品循環資源再生利用事業登録許認可 |
| 2011年7月 | 三重県版環境マネジメントシステム（M-ME S）取得 |
| 2011年7月 | 大台町J-V E R制度活用による事業者大台町クレジット購入契約締結 |
| 2013年6月 | 使用済自動車取引業者登録 |
| 2014年2月 | 三重県産業廃棄物収集運搬業優良認定取得
三重県特別管理産業廃棄物収集運搬業優良認定取得
三重県産業廃棄物処分業優良認定取得 |
| 2018年7月 | 三重県産業廃棄物処分業追加（廃蛍光灯ランプに限る） |
| 2020年2月 | 発酵処理廃止
食品循環資源再生利用事業登録許認可 登録返納 |
- (7) 事業の規模 : 売上高 777,695千円(2022年1月末日決算)
従業員数 42名（パート等6名含む）
本社・事務所 敷地面積 4,706.91㎡ 延床面積 369.25㎡
中間処理施設 敷地面積 31,392.8㎡ 延床面積 1419.56㎡
積替え保管 面積 1,814㎡ 保管上限 341.1㎡

(8) 許認可一覧と処理能力

1) 産業廃棄物収集運搬業 許可番号と品目

2022年3月31日現在

収集運搬業				産業廃棄物																		
都道府県 政 令	許可番号	許可年月日	積替え 保管の 有無	燃え がら	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プ ラ	紙 屑	木 屑	織 維 屑	残 渣	動 植 物 性	ゴ ム 屑	金 属 屑	ガ ラ ス 屑 等	鉦 さ い	ガ レ キ 類	ト 類	及 び い じ ん	
		有効期限																				
三重県	第02414020434号	2017年10月11日 2024年9月20日	有	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
愛知県	第02300020434号	2019年7月8日 2024年7月7日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
岐阜県	第2100020434号	2021年8月4日 2026年7月22日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
奈良県	第02900020434号	2018年5月14日 2023年5月13日	無		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●					●
滋賀県	第02501020434号	2019年7月2日 2024年7月1日	無		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●

収集運搬業				特別管理産業廃棄物			
都道府県 政 令	許可番号	許可年月日	積替え 保管の 有無	引 火 性 廃 油	廃 感 染 性 物 質	廃 酸	廃 アル カリ
		有効期限					
三重県	第02454020434号	2021年6月4日 2028年5月25日	無	●	●	●	●
愛知県	第02350020434号	2019年7月8日 2024年7月7日	無	●		●	●
岐阜県	第2150020434号	2021年8月4日 2026年7月22日	無	●	●	●	●
滋賀県	第02551020434号	2019年7月2日 2024年7月1日	無	●		●	●

2) 産業廃棄物処分業 許可番号と品目

処分業【中間処理】				産業廃棄物																	
都道府県 政 令	許可番号	許可年月日	積替え 保管の 有無	燃え がら	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プ ラ	紙 屑	木 屑	織 維 屑	残 渣	動 植 物 性	ゴ ム 屑	金 属 屑	ガ ラ ス 屑 等	鉦 さ い	ガ レ キ 類	ト 類	及 び い じ ん
		有効期限																			
三重県	第2424020434号	2018年7月3日 2024年8月24日							●	●	●	●				●	●			●	

3) 処理能力【中間処理】

加熱固化	廃プラスチック類(発泡スチロールに限る、石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く)	0.4 t/日 (8h)
破 碎 (A)	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く)	4.4 t/日 (8h)
	木くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	4.4 t/日 (8h)
	金属くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	4.9 t/日 (8h)
破 碎 (B)	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く)	4.64 t/日 (8h)
	紙くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	3.12 t/日 (8h)
	木くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	4.72 t/日 (8h)
破 碎 (C) (廃蛍光ランプ)	廃プラスチック類 (廃蛍光ランプに限る、石綿含有産業廃棄物を除く)	0.168 t/日 (8h)
	ガラスくず (廃蛍光ランプに限る、石綿含有産業廃棄物を除く)	0.48 t/日 (8h)
	金属くず (廃蛍光ランプに限る) ※上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む	1.68 t/日 (8h)
圧 縮	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く)	2.8 t/日 (8h)
	金属くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	5.6 t/日 (8h)
選 別	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く)	132 m ³ /日 (8h)

他6種類

4) 一般廃棄物収集運搬業 許可番号および許可期限					
市町村	事業の区分 (主たる業務)	許可年月日	許可番号	許可期限	備考欄
四日市市	一般廃棄物収集運搬業	2020年4月1日	第206号	2024年3月31日	
鈴鹿市	一般廃棄物収集運搬業	2020年4月1日	第45号	2024年3月31日	
津市	一般廃棄物収集運搬業	2020年4月1日	第95号	2024年3月31日	
松阪市	一般廃棄物収集運搬業	2021年7月1日	第11号	2023年6月30日	
多気町	一般廃棄物収集運搬業	2020年4月1日	多収第2号	2024年3月31日	
大台町	一般廃棄物収集運搬業	2021年1月23日	平成28年第7号	2023年1月22日	
伊勢市	一般廃棄物収集運搬業	2020年4月1日	29清 第1263号	2024年3月31日	
明和町	一般廃棄物収集運搬業	2020年4月1日	平成30年 第2号	2024年3月31日	
玉城町	一般廃棄物収集運搬業	2021年4月1日	玉城町認可	2024年3月31日	
5) その他登録許可および許可期限					
所轄	名称	登録/許可年月日	登録番号	許可期限	備考欄
三重県	計量証明事業	2008年9月24日	第278号	—	津市一志町其倉170-1
三重県	一般廃棄物処理施設設置	2009年3月24日	津農環第83-1号	—	
三重県公安	古物商許可	2009年7月23日	第551230078000号	—	
三重県	一般建設業許可	2022年5月23日	三重県知事 許可 (一般-4) 第13904号 第5-7号	2027年5月22日	

(9) 取扱い一般廃棄物並びに産業廃棄物 (事業規模)

1) 収集運搬実績 (一般廃棄物・産業廃棄物) と運搬車両 (施設) の種類・台数

・収集運搬量実績

収集運搬実績	単位	2019年	2020年	2021年
一般廃棄物収集運搬量	t	9,597	6,317	5,778
産業廃棄物収集運搬量	t	12,315	12,012	11,965
特別管理廃棄物収集運搬量	t	0	0	0

※特別管理産業廃棄物の許可はありますが、実績はありません。

・運搬車両の種類と台数

車両の種類	最大積載量	台数	車両の種類	最大積載量	台数
塵芥車 (バッカー)	1,500~2,750kg	7台 ※一廃	3t \bar{A} - \bar{A} 車(脱着装置付 コンテナ専用車)	3,000kg	3台
塵芥車 (バッカー)	1,500~4,150kg	6台 ※産廃	4t \bar{A} - \bar{A} 車(クレーン付含)	2,400~3,600kg	3台
2tトラック	2,000kg	3台	大型 \bar{A} - \bar{A} 車(クレーン付含)	6,900~7,900kg	3台
4tウイング車	2,350~2,900kg	2台	エリック付トラック車	3,300kg	1台 (4t)
10tウイング車	13,600kg	2台	吸引(ダンプ)車	2,930kg	1台

※市町(一般廃棄物)・各県(産業廃棄物) 重複にて申請車両あり。

・中間処理実績

処理実績	単位	2019年度	2020年度	2021年度
破碎	t	1,754	1,915	3,009
加熱固化	t	53	63	60
発酵	t	25	0	0
選別	t	4,988	5,962	3,387
圧縮	t	122	270	42
合計	t	6,942	8,210	6,498

・積替え保管施設場所 種類・保管条件

積替え保管場所

場所 : 三重県津市一志町其倉字岩ヶ谷170番1

面積 : 1,814 m²

種類 : 廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物を含む)、金属くず、
ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を含む)

(上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む)

紙くず、木くず、繊維くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)

保管上限 : 341.1 m³

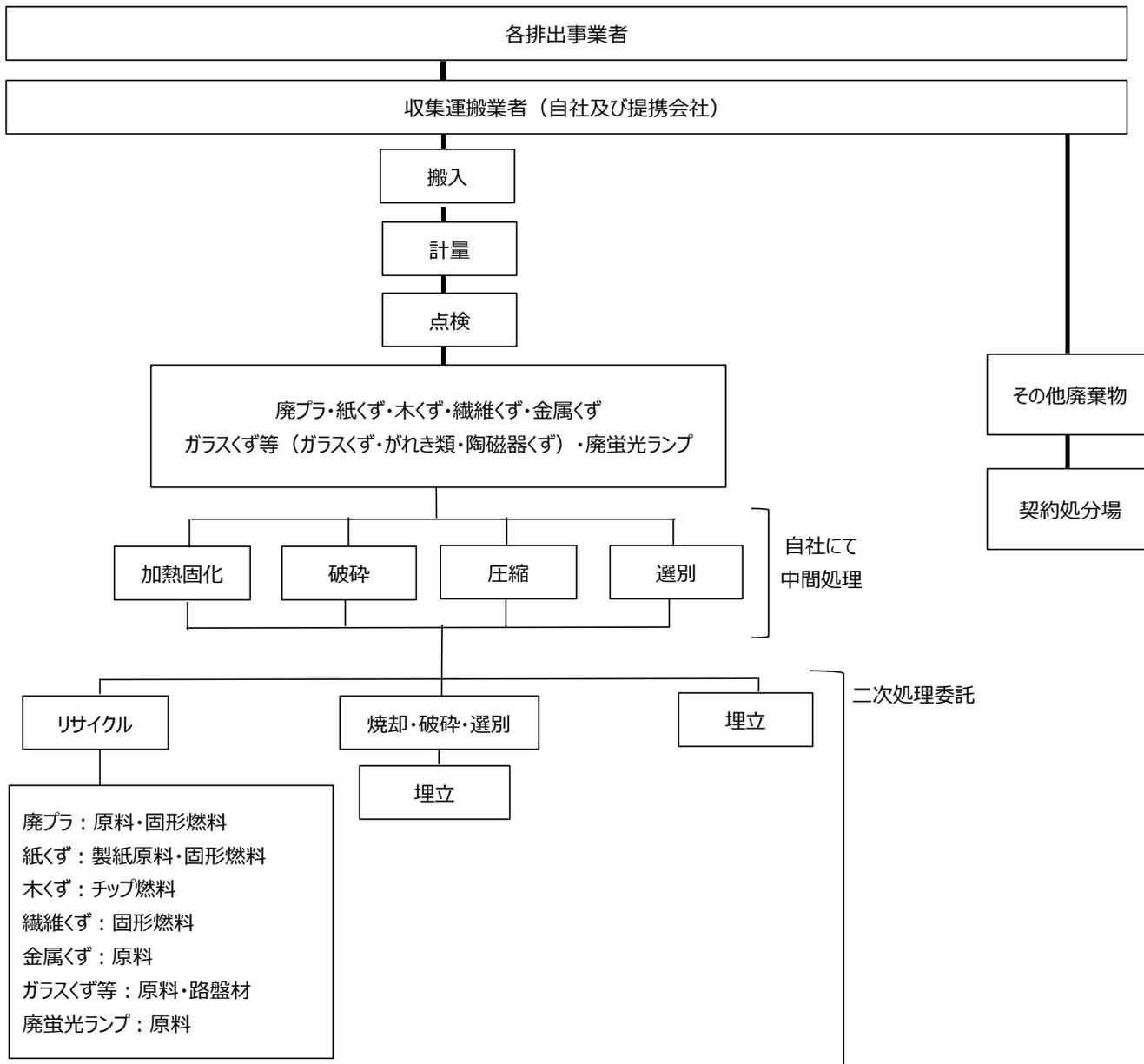
・処理施設

中間 処 理 施 設	加熱固化施設	ハイムター R E - E X 501	廃プラ (発泡スチロールに限る)	
	破碎 (A) 施設	一軸破碎機 U S 75	廃プラ	木くず 金属くず
	破碎 (B) 施設	破碎機 B R 2001	廃プラ	木くず 紙くず
	破碎 (C) 施設	CFR型廃蛍光灯クラッシャー	廃プラ	金属くず ガラスくず等
	圧縮施設	カンプレッサー	廃プラ	金属くず
	選別施設	磁選機・コンベアー	廃プラ・紙くず・木くず・金属くず・ガラスくず・ 繊維くず・がれき類 以上7種類	
重機	後方超小旋回ショベル SK55SR-6E	—	西日本コベルコ建機(株)	
	後方超小旋回ショベル SH125	—	住友建機(株)	
フォークリフト	トヨタエンジンフォークリフト50-8FD25	最大荷重 2,500kg	トヨタL&F中部 (株)	
	トヨタエンジンフォークリフト 02-8FD30①	最大荷重 3,000kg		
	トヨタエンジンフォークリフト 02-8FD30②	最大荷重 3,000kg		
	トヨタエンジンフォークリフト 02-8FD30③	最大荷重 3,000kg		

・処理能力

中間 処 理 施 設	加熱固化施設	廃プラ (発泡スチロールに限る)	0.4 t/日(8h)
	破碎 (A) 施設	廃プラ	4.4 t/日(8h)
		木くず	4.4 t/日(8h)
		金属くず	4.9 t/日(8h)
	破碎 (B) 施設	廃プラ	4.64 t/日(8h)
		紙くず	3.12 t/日(8h)
		木くず	4.72 t/日(8h)
	破碎 (C) 施設 (廃蛍光灯)	廃プラスチック類 (廃蛍光灯に限る)	0.168 t/日(8h)
		ガラスくず (廃蛍光灯に限る)	0.48 t/日(8h)
		金属くず (廃蛍光灯に限る)	1.68 t/日(8h)
	圧縮施設	廃プラ	2.8/日(8h)
		金属くず	5.6 t/日(8h)
	選別施設	—	132m ³ /日(8h)

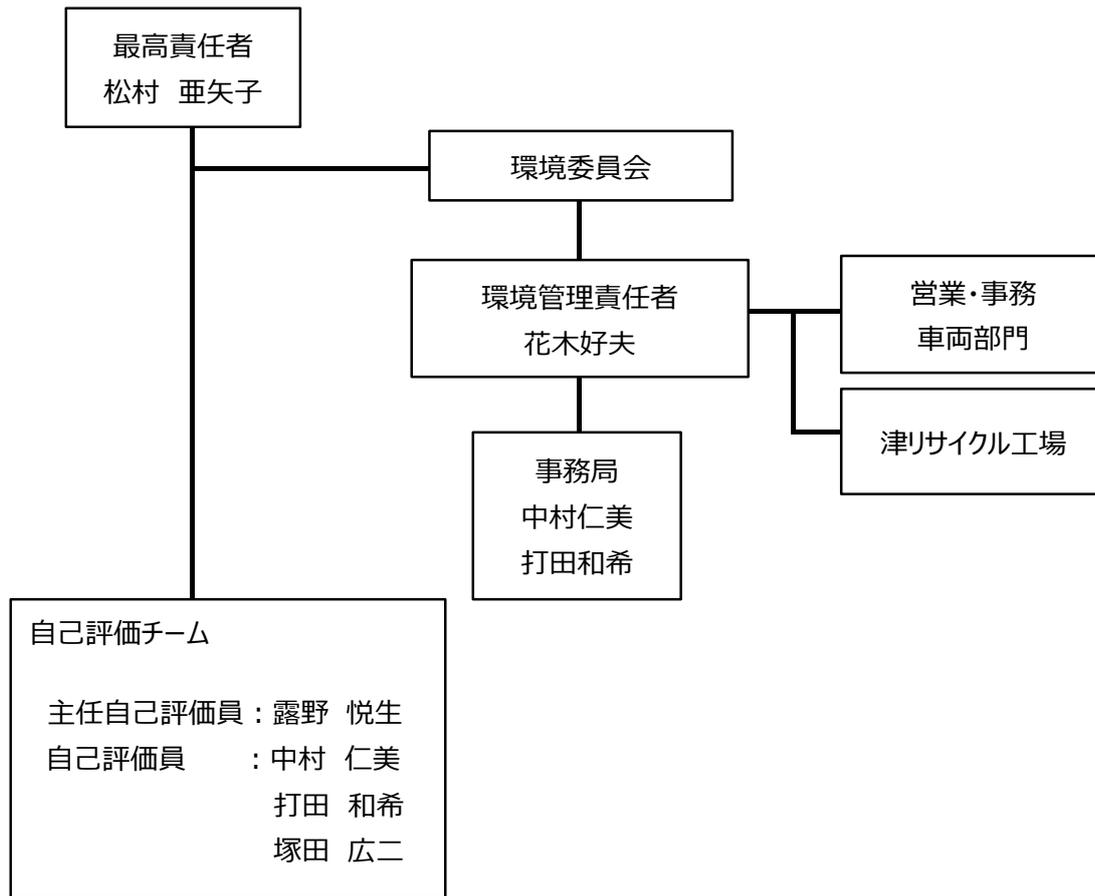
処理工程図【参考】



(10) 廃棄物の処理料金

運搬距離・廃棄物内容・回収形態等により、都度見積りをおこなう。

(11) 環境活動の取組体制



環境管理責任者：花木 好夫

担当者連絡先：中村 仁美

本社

TEL：0598-56-6153 FAX:0598-56-4889

打田 和希

津リサイクル工場

TEL：059-254-6655 FAX：059-259-2228

2. 登録対象

(1) 登録内容

M-EMS 登録証

登録日：2011年 7月 1日 (S2)

登録期限：2023年 6月30日

登録番号：M-EMS2W-0006 KES2W-5-0006

(2) 登録範囲

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業及び、産業廃棄物処分量（中間処理）に係わる全ての事業活動

(3) 対象事業所

本社・事務所

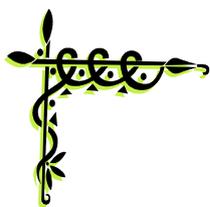
三重県松阪市五主町1313番地

中間処理施設

三重県津市其倉170-1番地（津リサイクル工場）

（積替え保管場所含む）

3. 環境宣言



環境宣言 基本理念



株式会社 司は、「可能な限り資源を循環させ、環境と共に生きる道を見出すこと」を使命と考え、人類共通の最重要課題の一つである地球環境の保全を推進し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

方針

株式会社 司は、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業及び産業廃棄物処分量の全ての活動、製品及びサービスに係わる環境負荷の低減及び環境保護をするために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連法令、その他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響の内、以下の5項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 環境保全の為の取組（カーボンオフセット[C O₂削減]の推進)
 - (2) 本社・工場周辺の清掃と社会貢献の推進（地域の行事参加協賛等）
 - (3) 電力使用量の削減
 - (4) リサイクル率の推進
 - (5) 環境意識の向上と環境教育の推進
 - (6) 軽油使用量の削減(収集運搬車両対象)
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動及び環境保護を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県および松阪市・津市の環境改善活動に積極的に参画します。

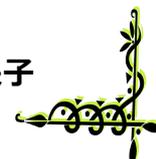
上記の方針達成のために、環境改善目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメント活動を推進します。

制定日 2011年2月1日

改定日 2020年4月1日



株式会社 司
代表取締役 松村亜矢子



4. 環境改善目標

・環境負荷の実績及び3年間の中期環境改善目標
(基準年度: 2018年度)

No	環境改善目標	(基準年度)	単位		2019年度	2020年度	2021年度
	(中長期)	2018年度実績					
1	カーボンオフセットの推進 (3箇年継続しての実施)	無効化量 *1 3.57 t (CO ₂)	無効化 t (CO ₂)	目標	無効化3 t	無効化3 t	無効化3 t
				実績	無効化3.54 t	無効化3.38 t	無効化3.06 t
2	事務所・工場周辺及び使用施設の 清掃(偶数月・2拠点)12回 工場全体清掃2回 地域行事参加及び協賛等の実施 年間5件 *2	清掃 12回 全体清掃 2回 行事参加・協賛 5件	回/年 件/年	目標	清掃14回 協賛他5件	清掃14回 協賛他1件(コロナにより2件を 1件に変更)	清掃14回 協賛他1件(コロナにより5件を 0件に変更)
				実績	清掃14回 協賛他7件	清掃14回 協賛他2件	清掃14回 協賛他5件
3	電力使用量の削減 本社電力・工場高圧電力 基本年度比6%削減	電力使用量 189538kWh *3 (87566 kg-CO ₂ /年)	kWh (kg-CO ₂ /年)	目標	基準年度比2%削減 185747 (85815)	基準年度比4%削減 181956 (84063)	基準年度比6%削減 178166 (82312)
				実績	143206 (66161)	147031 (67928)	144049 (66550)
4	廃棄物リサイクルの推進 基準年度リサイクル率2%向上	自社策定リサイクル率 *4 46.1%	%	目標	46%	47%	48%
				実績	49.4%	57.5%	55.4%
5	環境講習会の実施 年4回 緊急・防災訓練 各年1回	講習会(指定月4回) 訓練(指定月2回)	回	目標	6回/年	6回/年	6回/年
				実績	6回	8回	9回
6	軽油使用量の削減 (収集運搬車両対象) 原単位基準年度比2%削減 *5	271 ℓ/M¥(売上高)	ℓ/M¥ (売上高)	目標	-	268.2 ℓ/M¥	265.5 ℓ/M¥
				実績	-	251.6 ℓ/M¥	257.1 ℓ/M¥

*1 無効化量 (CO₂ (t)) = リサイクルステーションでの資源回収量 (t) × 0.006

*2 コロナウイルスの影響により目標値を2020年度は5件→2件(修正処置後2件→1件)、2021年度は5件→0件とした。

*3 電力使用量の基準年度は2017年度実績とした。

(理由: 2018年度は破砕機故障及び堆肥化施設の2基中の1基故障期間があり、基準年度として適さない)

*4 自社策定リサイクル率 = (①リサイクル処理量 + ②廃棄物処理量) × 100

①リサイクル処理量 = リサイクル(再資源化)〔発酵(堆肥) + プラスチック原料 + 金属原料〕
+ 排出二次処理〔燃料チップ(木くず) + 路盤材(コンクリートくず)〕

②廃棄物処理量 = 自社処分量(中間処理)

*5 2020年度より収集運搬車両の軽油使用量の削減を環境改善目標に追加。

原単位 = 月間使用 ℓ 数 ÷ 月間売上高

・管理項目での実績

No	管理項目	具体的施策	項目 単位	2019年度		2020年度		2021年度	
				実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量
1	グリーン調達	毎月の事務用品購入時に 1品目以上のエコ商品調達実施	達成率 %	100	-	100	-	100.0	-
2	ガソリン・軽油(燃料) 合計使用量の把握※	・アイドリングストップの推進 ・エコ運転の励行	使用量 ℓ	234,407	603,939.1	40,891.3	104,606.1	34,923.7	89,184.1
3	水道使用量の把握	・洗車時の節水励行 (水の出っぱなしの排除)	使用量 m ³	654.7	-	786.0	-	571.5	-

排出係数: 電力 0.462kg-CO₂/kWh(中部電力) ガソリン 2.32 kg-CO₂/L 軽油 2.58 kg-CO₂/L

出典; 2019年(令和元年)環境省より

水の使用量は、生活排水のみのため、改善目標から除外し、維持管理項目とする。

化学物質においては、その使用実績がありません。

※2020年度より収集運搬車両の軽油量削減が環境改善目標に追加されたため、それを除く重機・リフト関係の軽油とガソリンを対象に使用量を管理目標として計上していく。

5.環境改善目標と実績

2021年度環境活動実績

No	環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
1	カーボンオフセットの推進 (3箇年継続しての実施)	・エコ運転の励行 ・CO ₂ 排出量管理	無効化3 t	3.06t	A(102%)
2	事務所・工場周辺及び使用施設の 清掃(偶数月・2拠点)12回 工場全体清掃2回 地域行事参加及び協賛等の実施 年間5件	・清掃 12回 ・全体清掃 2回 ・行事参加・協賛 5件	清掃14回 協賛他0件	清掃14回 協賛他5件	A(135%)
3	電力使用量の削減 本社電力・工場高圧電力 基本年度比2%削減	・設備の休止時電源オフ推進 ・未使用時・休憩時の消灯推進 ・空調温度の適正管理	178,166kWh/年 82,312kg-CO ₂ /年	144,049kWh/年 66,550kg-CO ₂ /年	A(123%)
4	廃棄物リサイクルの推進 基準年度リサイクル率46%	・排出事業者・持込業者への 分別指導 ・効率の良い選別作業実施	48%	55.4%	A(115%)
5	環境講習会の実施 年4回 緊急連絡訓練及び防災訓練 各年1 回	・社員の知識拡大に繋がる 講義等の企画	6回/年	9回/年	A(150%)
6	軽油使用量の削減 (収集運搬車両対象) 原単位基準年度比2%削減	・エコドライブの推進 ・タイヤチェック ・不必要なアイドリング	265.5 ℓ/M¥ 198,049.5L 510,967.7kg-CO ₂ /L	257.1 ℓ/M¥ 195,701.5L 504,909.8kg-CO ₂ /L	A(103%)

*1 無効化量(CO₂(t))=リサイクルステーションでの資源回収量(t)×0.006

評価記号 A:良好(100%以上) B:やや不足(90~100%未満) C:不適合(90%未満)

管理項目及び二酸化炭素排出量の実績

No	管理項目	具体的施策	項目 単位	2019年度		2020年度		2021年度	
				実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量
1	グリーン調達	毎月の事務用品購入時に 1品目以上のエコ商品調達実施	達成率 %	100	-	100	-	100	-
2	ガソリン・軽油(燃料) 合計使用量の把握※	・アイドリングストップの推進 ・エコ運転の励行	使用量 ℓ	234,407	603,939.1	40,891.3	104,606.1	34,923.7	89,184.1
3	水道使用量の把握	・洗車時の節水励行 (水の出しっぱなしの排除)	使用量 m ³	654.7	-	786.0	-	571.5	-
4	電力使用量の把握	・設備の休止時電源オフ推進 ・未使用時・休憩時の消灯推進	使用量 kWh	143,206.0	66,161.1	147,031.0	67,928.3	144,049.0	66,550.6
5	軽油使用量の把握 (収集運搬車両対象)	・エコドライブの推進 ・タイヤチェック ・不必要なアイドリング	使用量 ℓ	No2 に含まれる	No2 に含まれる	193,269.5	498,635.3	195,701.5	504,909.8
	二酸化炭素排出量(合計)		kg-CO ₂ /年	-	670,100.2	-	671,169.7	-	660,644.6

排出係数: 電力 0.462kg-CO₂/kWh(中部電力) ガソリン 2.32 kg-CO₂/L 軽油 2.58 kg-CO₂/L

出典; 2019年(令和元年)環境省より

※2020年度より収集運搬車両の軽油量削減が環境改善目標に追加されたため、それを除く重機・リフト関係の軽油とガソリンを対象に使用量を管理目標として計上していく。

5. 1 具体的環境活動の評価

今年度は中長期目標の最終年度であり、改めて皆で目標を確認して活動に取り組んだ。

社会貢献活動に関してはコロナ禍ということもあり、目標値は0で修正済みではあったが、少しずつイベントなども開催されてきており、情報収集して協力できるものについては積極的に参加した。結果的に5件の協賛参加ができた点については評価している。

また啓発活動（教育）に関しては予定された研修だけでなく、必要に応じて臨時に研修を開催し、従業員自身でスキルアップを図るなど積極的に活動している様子も見られた。

その他項目についても社員一丸となって取り組んだことによりA判定という結果に繋がったと考える。

ただしこの3年は多くの業界でコロナの影響を大きく受けており、廃棄物の数量にも反映されている。

そのためすべての項目に対して稼働率が低下しており、目標を達成しやすい環境にあったと言える。

来年度からは基準年度実績がコロナ禍での数値となることから、より気を引き締めて活動していく必要がある。

5. 2 次年度の活動について及び今後の課題

新中長期計画(2022～2024年度)の目標は、「カーボンオフセットの推進」を除外し、

他の項目を同じに制定することとし、啓発活動（社会貢献）、省エネルギー（電力使用量削減）

循環型社会貢献（リサイクル率向上）、啓発活動（環境教育推進）、省エネルギー（軽油使用量削減）

の5項目で活動を行う。現行目標の「カーボンオフセットの推進」は、外部の影響が多く、自社でできる

具体的活動がなくなってきたため除くが、引き続き管理把握していく。

来年度からは基準年度（2021年度）実績がコロナ禍での数値となることから、目標達成のために

更なる工夫をして皆で協力し合いながら活動していく必要がある。

6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、適用される環境関連法と、その要求事項の概要を別表1に示す。適用される主な環境関連法の順守状況を定期的に確認評価の結果、違反はなかった。

7. 代表者による全体の評価見直し結果

7. 1 全体評価

今回の環境活動目標について社員一丸となって目標達成を成し遂げることができた。

日々のミーティングの中で電力軽油削減のための改善点について話し合いの時間を設けたり、

問題点を早期に解決するための研修を開催するなど、従業員一人一人の積極的な活動

が多く見られ、成長を感じる一年であった。

7. 1 見直し評価

環境宣言の変更の必要性：あり

新中長期計画の目標変更に伴い、環境宣言の目標から「カーボンオフセットの推進」を削除し、

2022年4月1日に改訂した。

環境改善活動及び環境経営システム等の変更の必要性：なし

実施体制の見直し・変更の必要性：なし

8. コミュニケーション

コロナウイルスの影響により予定していた行事が中止となったため、参加できなかった。

別表-1 適用される環境関連法とその要求事項

区分	名称	要求事項	環境影響項目	管理部門	
大気	オフロード法	適合証+D4:F43明・重機の使用、特殊自動車の排ガス規制	本社：リフト1基 津R:リフト3基・重機2基	本社・津リサイクル工場	
	自動車NOx・PM法	窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減	本社・津R：収集運搬車両	本社・津リサイクル工場	
	気候変動適応法	ハザードマップの作成	環境全般	本社・津リサイクル工場	
		熱中症対策 国県市の施策に協力			
水質	浄化槽法	設置の届出:申請日確認	浄化槽：東洋プラントTPC-5	津リサイクル工場 委託業者：東海管理サービス 委託業者：マルワ清掃 委託業者：三重県水質保全協会	
		保守点検：4ヵ月1回			
		清掃：年1回			
		法定検査（水質）：年1回			
廃棄物	産業廃棄物排出事業者	委託契約の締結（契約書5年間保管）	産業廃棄物 水銀使用製品産業廃棄物	本社・津リサイクル工場	
		保管基準の順守			
		マニフェストの交付・回収・照合・保管（5年）			
		交付状況報告（知事）毎年6月末日迄			
	廃棄物処理法（一般・産業） 収集運搬業	収集運搬業許可証の有効期限（更新）表示	収集運搬車両全般	本社・津リサイクル工場	
		収集運搬業許可基準の順守	一般廃棄物		
		委託契約の締結（契約書5年間保管）	産業廃棄物・特別管理廃棄物		
	廃棄物処理法（一般・産業） 中間処理業	処分業許可証の有効期限（更新）表示	一般廃棄物・産業廃棄物	本社・津リサイクル工場	
		処分業許可基準の順守	破碎施設		
		委託契約の締結（契約書5年間保管）	加熱固化施設・選別施設		
		再生施設 認定	破碎施設(水銀使用製品) 加熱固化施設		
	廃棄物処理法（一般）	分別処理：事業系一般廃棄物の分別、減量化 3Rの努力	事務所給湯室・休憩室	本社・津リサイクル工場	
温暖化防止 廃棄物	フロン排出抑制法	回収運搬破壊の経費支払と委託確認書の保存	業務用エアコン	本社・津リサイクル工場	
		フロン類の漏えい点検（四半期に1回の簡易点検）			
		機器廃棄後3年間保存（引取証明書、定期点検記録、解体工事の場合、元請業者の事前説明書）			
		廃棄物・リサイクル業者に廃棄機器引渡時、引取証明書の写しを渡す			
リサイクル	資源有効利用促進法	長期使用、再生資源の努力義務	本社：PC13台・複写機1台 津R：PC4台・複写機1台	本社・津リサイクル工場	
	家電リサイクル法	買換時リサイクル料負担	本社：テレビ2台・エアコン2台 冷蔵庫4台・洗濯機2台 津R：テレビ2台・エアコン2台 冷蔵庫1台・洗濯機1台	本社・津リサイクル工場	
	建設リサイクル法	建築物の分別解体／分別、発注者への報告	コンクリート、木材	本社・津リサイクル工場	
		建築廃材等の再資源化	コンクリート、木材	津リサイクル工場	
	自動車リサイクル法	自動車引取業者登録・登録基準の順守	本社：社用車1台・営業車3台 軽四1台・収運車両19台	本社・津リサイクル工場	
		車検又は買換時リサイクル料負担			
小型家電リサイクル法	長期使用、再生資源の努力義務	本社：プリンター1台・電話機13台 津R：プリンター1台・電話機3台	本社・津リサイクル工場		
化学物質	消防法	指定可燃物の貯蔵の基準	木屑・ガンボール	津リサイクル工場	
		少量危険物の貯蔵の基準	軽油貯蔵（施設燃料タンク）		
地方条例	三重県生活環境の保全に関する条例	自動車対策（アドリッグストップなど）	自動車	本社・津リサイクル工場	
		騒音発生指定施設の届出	駐車場	本社・津リサイクル工場	
		騒音発生指定施設の届出	破碎施設	津リサイクル工場	
	三重県産業廃棄物の適正処理の推進に関する条例	委託先の許可期限確認・処分場現地確認 処理実績報告（知事）毎年6月末日迄	産業廃棄物：収集運搬・処分	本社・津リサイクル工場	
	三重県地球温暖化対策推進条例	温室効果ガスの発生抑制	自動車、他	本社・津リサイクル工場	
	三重県環境基本条例	公害防止・環境保全・環境負荷低減・市町村への協力	自動車、他	本社・津リサイクル工場	
	松阪市環境基本条例	分別処理・3Rの努力	事務所給湯室・休憩室	本社・津リサイクル工場	
	津市環境基本条例	分別処理・3Rの努力	事務所給湯室・休憩室	本社・津リサイクル工場	
	津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	指定区域での収集運搬業を行う事業者の許可申請【2年毎更新】	収集運搬車両全般	本社・津リサイクル工場	
	伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	指定区域での収集運搬業を行う事業者の許可申請【2年毎更新】・月次処理実績報告	収集運搬車両全般	本社・津リサイクル工場	
その他の要求事項	協定 覚書	津市環境協定	臭気・騒音測定：年1回 記録・保存	加熱固化施設 （送風機・発泡溶融機） 破碎施設	津リサイクル工場
			騒音敷地境界線上基準の順守：年1回測定65dB以下		
			悪臭排出基準の順守：年1回測定津市一志町臭気指数15		
			騒音防止努力義務		
			悪臭防止努力義務		

産業廃棄物 処理実績表 (2021年度)

収集運搬量/持込量

種類	収集運搬量 (t)
廃プラスチック	3,618
金属くず	1,563
紙くず	26
木くず	1,959
繊維くず	0
ガラスくず等	193
がれき類	121
蛍光ランプ	67
汚泥	2,189
動植物性残渣	1,668
廃酸	385
廃アルカリ	21
廃油	101
電池	4
バッテリー	2
燃え殻	4
混合廃棄物	44
合計	11,965

持込量	265
-----	-----

総合計取扱量	12,230
--------	--------

処分量

種類	自社処分量 (t)
廃プラスチック	2,421
金属	1,783
紙くず	26
木くず	2,016
繊維くず	2
ガラスくず等	195
がれき類	53
蛍光ランプ	2
合計	6,498

直接契約処分場搬入	5,732
-----------	-------

自社処分量 (中間処理)

処分方法 種類	処分量 (t)
破 碎 廃プラスチック・紙くず・木くず・金属くず・蛍光ランプ	3,009
加熱固化 廃プラスチック (発泡に限る)	60
選 別 廃プラスチック・紙くず・木くず・金属くず 繊維くず・ガラスくず等・がれき類	3,387
圧 縮 廃プラスチック・金属くず	42
合計	6,498

【内訳 (t)】

リサイクル (再資源化)	
プラスチック・紙原材料他	89
金属原料	1,403
ガラス原料	60
合計	1,552

司排出二次処理 (二次マニフェスト)	
リサイクル (RPF、燃料チップ他)	3,578
その他二次処理 (破碎、選別、焼却等)	103
最終処分場 (埋立)	1,265
合計	4,946

総合計処分量	6,498
--------	-------

2021年度リサイクル率	78.9%
--------------	-------

※算出方法：

$$\frac{\{\text{リサイクル (再資源化)} + \text{司排出リサイクル処分量}\}}{\text{総合計処分量}} = \frac{1552 + 3578}{6498}$$